

存続か廃止か ——— 方向性の決定が必要です



これまで市では、路面電車を存続させるにはどのような条件が必要か、さまざまな視点から検討を行ってきました。しかし、解決すべき課題が多く、当初予定していた平成15年度末までに結論を出すことができませんでした。

市では現在も引き続き検討を行っていますが、一方で一部車両の老朽化が著しいため、新型車両(低床車両1台約2億円)への早急な切り替えが必要となっています。

車両の製作や冬期間の試験走行などの準備を考えると、少なくとも、存続するのか・廃止するのかの方向性については平成16年度中に決定する必要があります。

廃止

バスに転換しては

現在の限られた地域を走る路面電車に、90億円の投資は見合わないと思います。利便性が変わらないのなら、路面電車は廃止して、代わりにバスを走らせてもいいのでは。

これからのまちづくりを考えるべき

人と環境に優しいまちづくりを進める上で、路面電車は必要です。しかし、現路線は赤字であるため、存続するためには、経営の効率化は当然として、今の路線にこだわらず、多くの人々が利用する場所に延長したり、環状化したりするなどして、乗客を増やす工夫が必要ではないでしょうか。

存続

税負担をできる限り少なくする方法で

業務の委託化を進めるとともに、車両更新の経費を縮減するなど、なるべくお金を掛けずに、継続すべきです。また、存続するのなら、利用者には少なくとも、地下鉄、バスの乗車料金と同額を負担してもらうなどの増収策も必要ではないでしょうか。

市役所内部でも さまざまな議論が



まちなかのシンボルは必要

路面電車は、北海道遺産にも選定されており、市民アンケートでも25%の市民がまちなかのシンボルと認めています。このような市民が愛着を持つ路面電車は、税金を投入してでも、残すべきです。

市長
から

皆様のご意見を 聞かせてください

路面電車は環境に優しく、多くの都市でもその良さが見直されています。しかし、ご覧いただいたように、路面電車を存続させるには、多額の費用がかかるなど、多くの課題があります。そうした状況を踏まえ、路面電車を無くすというのも一つの方策ですが、一度廃止してしまうと復活させることは困難になるでしょう。

そこで、路面電車を今後どうすべきか、皆さんの率直な意見を聞かせてください。市では、今後も財政、環境、周辺への影響などさまざまな課題を市民の皆さんにお知らせしながら、これからの路面電車のあり方を一緒に考えていきます。

今後の日程

- ・ 8月に市電フォーラム開催～有識者などによるパネルディスカッションや、市民の皆さんとの意見交換を行います。
- ・ 16年度中に路面電車の存続・廃止について方向性を決定します。存続させる場合には、まちづくりとの連携(路線の再編)、民間活力の導入などの課題があるため、その後も皆さんと一緒に検討を続けます。

●出前講座を実施

職員が地域に出向き、路面電車の現状や問題点、現在の検討状況などについて、分かりやすく説明します。対象は、市内に在住、在勤の20人以上の団体です。ご希望の方は、交通企画課☎211-2492まで申し込み。詳細は各区役所で配布中のパンフレットのほか、ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/somu/demaekoza/> をご覧ください。

ご意見を
募集します

ご意見は、①存続か、廃止か、②その理由や条件、③路面電車の利用状況(年〇回、月〇回など)と、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話(ファクス)番号を記入し、はがき、封書、ファクス、Eメール、ホームページでお寄せください。寄せられたご意見を、本誌などに掲載させていただくことがありますので、あらかじめご了承願います(誌上は匿名も可。匿名希望の場合はその旨を明記)。本誌に掲載させていただいた方には、共通ウィズユーカードを差し上げます。

〒060-8611 中央区北1西2 交通企画課 FAX 218-5114 Eメールアドレス sogokotsu1@city.sapporo.jp
ホームページ・ネットアンケート<7月11日(日)~8月10日(火)>
<http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/enquete/no13enq.htm>